

序 文

棚倉町は、東北地方の南部に位置し、八溝山を源流とする久慈川の清流と豊かな自然に恵まれ、古くから東白川地方の中心として、また、棚倉藩の城下町として栄えた歴史と文化の町です。

棚倉城は、棚倉藩主となった丹羽長重が、寛永2年（1625）に、この地に鎮座していた近津明神（馬場都々古別神社）を現在の馬場に遷宮して築城したもので、幕末の戊辰戦争で落城するまで、丹羽長重をはじめとする親藩・譜代の大名が城主を務めました。

棚倉町教育委員会では、東日本大震災で棚倉城跡二ノ丸西面石垣の一部が崩落したことを契機として、保存を目的とした調査事業を実施し、多門櫓の礎石や戊辰戦争のときの焼土などを検出しました。発掘調査を含めた様々な調査成果により、江戸時代前期における江戸幕府の奥羽政策と、寛永期の築城形態の有り様を理解する上で貴重な城跡であるとして、平成31年（2019）2月26日に、国の史跡に指定されました。

当町では、棚倉城跡の価値を損なうことなく次世代に継承し、その活用と整備を図るための指針として『棚倉城跡保存活用計画書』を令和3年（2021）3月に策定いたしました。今回、保存活用計画を踏まえて、棚倉城跡の保存と活用のための整備に関する基本的な考え方を示すために本計画を策定いたしました。

今後は、この計画に基づき、棚倉城二ノ丸西面石垣の保存修理などの整備事業に取り組んでまいります。また、当町を代表する歴史的・文化的遺産として、この計画で目指す棚倉城跡の姿「学んで楽しむ魅力いっぱい御本城」の実現を図ってまいりたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたりご尽力を賜りました、棚倉城跡整備基本計画策定委員会の委員の皆様をはじめ、文化庁、福島県教育庁文化財課など関係各位に深く感謝申し上げます。

令和5年3月

棚倉町教育委員会

教育長 荒川 文雄

例 言

- 1 本書は、福島県棚倉町大字棚倉字城跡他に所在する「棚倉城跡」の整備基本計画である。
- 2 棚倉城跡整備基本計画策定事業は、棚倉町が国庫補助金の交付を受けて、令和3年度と令和4年度の2カ年をかけて実施した。
- 3 本計画は、文化庁文化資源活用課、福島県教育庁文化財課の指導・助言を得ながら、棚倉城跡整備基本計画策定委員会での検討に基づき、棚倉町教育委員会が策定した。
- 4 本計画書は、棚倉町教育委員会が事業主体となって執筆及び編集した。
- 5 図面作成等の業務を株式会社イビソク、株式会社藤建設技術設計センターに委託して行った。

目次

第1章 計画策定の経緯と目的	1
第1節 計画策定の経緯	1
第2節 計画の目的	1
第3節 計画の対象範囲	1
第4節 委員会の設置	3
第5節 上位計画及び関連計画との関係	5
第2章 計画地域の現状	7
第1節 自然的環境	7
第2節 歴史的環境	1 2
第3節 社会的環境	1 9
第3章 史跡の概要及び現状	2 8
第1節 棚倉城跡の概要	2 8
第2節 指定の状況	3 7
第3節 棚倉城跡の本質的価値と構成要素	6 0
第4節 本質的価値を構成する要素	6 3
第5節 史跡指定地の状況	6 8
第4章 現状と課題	8 6
第1節 保存管理の現状と課題	8 6
第2節 活用の現状と課題	8 7
第3節 整備の現状と課題	9 6
第4節 管理運営体制の現状と課題	9 9
第5章 整備の基本方針	1 0 0
第1節 整備の基本理念	1 0 0
第2節 整備の基本方針	1 0 0

第6章 整備基本計画	1 0 2
第1節 全体計画及び地区区分計画	1 0 2
第2節 遺構保存・修復に関する計画	1 0 6
第3節 動線計画	1 1 1
第4節 修景及び植栽に関する計画	1 1 6
第5節 遺構の表現に関する計画	1 2 4
第6節 案内・解説施設に関する計画	1 2 7
第7節 管理施設及び便益施設に関する計画	1 3 2
第8節 整備事業に必要となる調査の計画	1 3 4
第9節 関連歴史遺産との連携に関する計画	1 3 7
第10節 公開・活用に関する計画	1 3 8
 第7章 管理運営計画	 1 4 0
第1節 管理・運営に関する計画	1 4 0
第2節 事業計画	1 4 1
第3節 史跡指定及び公有地化	1 4 1
 参考資料	 1 4 3

図目次

第 1 図	整備基本計画の対象範囲図	2
第 2 図	棚倉町の位置図	7
第 3 図	棚倉町の地形図	8
第 4 図	棚倉町の地質図	9
第 5 図	10 年間の月別平均気温	10
第 6 図	10 年間の月別平均降水量	10
第 7 図	棚倉城跡周辺の植生図	11
第 8 図	棚倉城と周辺城館跡	16
第 9 図	指定文化財位置図	18
第 10 図	総人口と世帯数の推移	19
第 11 図	土地利用状況の割合	19
第 12 図	棚倉町の土地利用状況図	20
第 13 図	周辺道路・交通の状況	21
第 14 図	棚倉町内総生産の業種別割合	22
第 15 図	棚倉町観光スポット位置図	23
第 16 図	棚倉町の観光入込客数の推移	23
第 17 図	都市計画図	26
第 18 図	奥久慈県立自然公園における「棚倉城跡地区」	27
第 19 図	公共施設配置図（明治～昭和）	31
第 20 図	指定範囲図	40
第 21 図	棚倉城跡地籍図	41
第 22 図	公有地及び県立自然公園の範囲図	42
第 23 図	発掘調査・ボーリング調査位置図	44
第 24 図	多門櫓礎石検出状況	45
第 25 図	ボーリング調査地点	50
第 26 図	ボーリング調査土層模式図	50
第 27 図	想定される築城以前のあり方	50
第 28 図	石垣付近ボーリング調査地点	51
第 29 図	石垣付近ボーリング調査土層模式図	51
第 30 図	長久寺山門 平面図	54
第 31 図	長久寺山門 立面図	54
第 32 図	棚倉城跡現況調査の位置図	54
第 33 図	推定遺構図及び江戸時代の動線	57
第 34 図	滅失した遺構の配置図	58
第 35 図	本質的価値を構成する諸要素の位置図	59
第 36 図	棚倉城跡へのアクセス図	68

第 37 図	棚倉城跡樹木現況図	7 2
第 38 図	集排水経路図	7 5
第 39 図	史跡地外部からの景観写真撮影位置図	7 6
第 40 図	来訪者の現状動線	8 4
第 41 図	工作物位置図	8 5
第 42 図	案内標識位置図	8 8
第 43 図	公共施設等位置図	8 9
第 44 図	棚倉城について展示を行った施設位置図	9 8
第 45 図	ゾーニング計画図	1 0 3
第 46 図	整備計画平面図	1 0 5
第 47 図	修復のフロー	1 1 0
第 48 図	動線計画図	1 1 2
第 49 図	モデルコース図	1 1 4
第 50 図	周辺地域を含めた動線図	1 1 5
第 51 図	植栽管理の地区割図	1 1 7
第 52 図	視点場のイメージ	1 1 8
第 53 図	視点場からの眺望範囲	1 1 8
第 54 図	サイン配置	1 3 1
第 55 図	発掘調査予定箇所	1 3 5
第 56 図	関連遺産位置図	1 3 7
第 57 図	管理・運営体制のイメージ	1 4 0

表目次

第 1 表	棚倉町中世・近世城館一覧	1 5
第 2 表	指定文化財一覧表	1 7
第 3 表	福島県景観計画区域における届出の必要な行為	2 4
第 4 表	福島県屋外広告物条例で定める地域区分	2 5
第 5 表	県立自然公園の区分	2 7
第 6 表	棚倉城跡関連年表	3 6
第 7 表	指定地内の地番と面積	4 3
第 8 表	棚倉城跡現況調査の所見	5 5
第 9 表	樹木調査一覧表	7 3
第 10 表	棚倉城跡の主な活用・情報発信一覧	9 1
第 11 表	ゾーニング・地区区分と整備方針	1 0 4
第 12 表	遺構表現の手法と対象とする遺構	1 2 7
第 13 表	管理・運営と役割分担（案）	1 4 1
第 14 表	事業計画（案）	1 4 2